

1 審議会名	上田左岸地域協議会
2 日時	令和7年3月13日 午後1時30分から
3 会場	川西公民館 大ホール
4 出席者	赤堀委員、稲垣委員、王鷲委員、坂田委員、田中委員、西入委員、羽田委員、久松委員、星委員、前所委員、松田委員、宮坂委員、安江委員、山田委員、和田委員
5 市側出席者	【事務局】堀内市民参加・協働推進課長、山崎塩田地域自治センター長、馬場川西地域自治センター長、遠藤地域振興政策幹、滝沢城南地域振興政策幹、大森川西地域振興政策幹、竹花地域内分権推進担当係長、滝沢地域内分権推進担当主査、城下地域内分権推進担当主査、清水地域内分権推進担当主任、桐山地域内分権推進担当主任 資源循環型施設建設関連事業課：山浦課長、倉澤係長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年4月24日

協 議 事 項 等

1 開会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 地域振興事業基金(持寄分)の取り崩しについて

(地域内分権推進担当係長)平成18年合併時に旧4市町村から持ち寄ったものが地域振興事業基金の持寄分であり、それぞれの地域の振興のために行う事業に使用する基金。このうち旧上田市分について、令和7年度に実施する2つの事業にて基金を活用する予定。

(資源循環型施設建設関連事業課長)上田地域広域連合がごみ焼却場(資源循環型施設)の建設を進めている。2月には環境影響評価が終わり、地元及び全域に対して説明会を開催した。清浄園(し尿処理場)を取り壊して新たにごみ焼却場を建てる予定。

基金取り崩しの対象として、周辺整備事業を予定している。資料赤枠内で行う事業については、ごみ焼却場によって、地域の価値が低下しないように新規価値の向上と地域振興を目指す。

現在、アクアプラザ上田の移設及び公園緑地の整備を検討している。整備の内容については基本計画の作成を進めており、今後はパブリックコメントを実施して市民の皆様の意見を聞いて決めていく。

令和7年度に測量を行う予定であり、委託料2,320万円のうち、2,000万円を基金から活用させていただき、事業を進めていきたい。測量及び地権者の意向調査を行い、来年度から用地買収を行う。2年間掛けて用地買収した後、建設工事を進める。完成は令和13年度を予定。

整備予定の公園の規模は、長池公園を一回り大きくしたものを想定している。アクアプラザ上田は、現在利用されている施設が再整備される計画となっている。

地域振興のために行う事業であり、基金を活用させていただきたい。

(地域内分権推進担当係長)市道の維持管理の一環として、路面清掃車を用いて定期的に路肩等に溜まった土砂や枯葉などを清掃している。現在使用中の車両は使用開始から10年が経過し、土砂の吸引能力が極めて低

下しており、清掃作業に支障が生じている状況。

今後も市道の維持管理を適切に行い、道路環境の保全を図るため、路面清掃車を更新する予定。なお、清掃作業は、右岸・左岸地域ともに5月から11月の7か月間実施している。

車両価格2,750万円のうち、半分の1,375万円を基金から使用させていただく。現在使用中の車両と機能は大きく変わらないが、吸引能力が優れたものになっている。

(地域内分権推進担当係長)残高について、合併時の地域振興事業基金の持寄分残高は旧4市町村合計が約13億1,400万円であり、令和6年度末の残高見込みは約7億2,700万円となっている。令和7年度の取り崩し予定が旧上田市分として3,375万円あり、令和7年度末残高見込みは、旧上田市分として約1億7,200万円、旧4市町村合計で約5億8,200万円となる。

(会長)旧上田市分の残高が、合併時と比べて増えている理由は何か。

(地域内分権推進担当係長)積立分があり毎年増えている。

(委員)道路の維持管理に使用する車両の購入に地域振興事業基金を使うのに疑問がある。この基金はどのようなことに使うものか。

(地域内分権推進担当係長)持寄分の用途は、地域独自のイベント、コミュニティ活性化事業、地域課題に対応する事業などが該当する。

今回の車両の購入については、クリーンシティ上田の事業として活用させていただく。

(会長)クリーンシティ上田という大きな事業を推進するために、地域振興事業基金を使うということ。

(2) 上田地域における地域協議会の設置単位及び委員数等の見直しについて

(地域内分権推進担当係長)意見書(案)を作成したため確認いただきたい。

①上田地域を一つの設置単位にすることについて、地域協議会委員を対象としたアンケート結果によると、上田地域を一つにすることに対し「賛成」「どちらかという賛成」が「反対」「どちらかという反対」の数を上回った。いただいたご意見を踏まえ、右岸地域協議会と左岸地域協議会を統一し、上田地域は一つとなって協議を進めていくことが適当である。

②地域の協議会を一つにした場合の適正な委員数について、アンケート結果では右岸地域協議会と左岸地域協議会を一つにしても人数は「現在と同じ20人」が一番多い結果だった。ただし、「30人」や「24人」という意見も全体の半数近くあり、選出時の委員数のバランスを考慮すると、6地域から4人ずつ選出する「24人以内」が適当と考える。

③通算して3期6年を超える委員の再任を認めていない現在の条例の見直しについて、アンケート結果では条例の見直しに対し、「賛成」「どちらかという賛成」が多数を占めており様々なご意見をいただいた。今後は、これまで経験された方も含め地域を良く知る方に委員として活躍していただくことを期待し、委員の再任には一定の配慮をしながらも再任を認め、条例を見直すことが適当と考える。

④委員の役割等の見直しの必要性について、地域協議会ではこれまで任務の一つとして求められる「まちづくりについての調査研究」を分科会等において研究を重ね、意見書としてまとめてきた。一方で住民自治組

織や地区自治会連合会などでも地域課題の解決を目指して取り組む中で、市に対し意見や要望を述べることができるようになっており、役割が重複している状況。アンケート結果は、役割等の見直しの必要性の問いに対し「賛成」「どちらかという賛成」が多数を占めていた。このことから、地域協議会委員の役割を市からの諮問されたテーマのみの開催に整理していくことが適当と考える。

(委員)②について、最も多いのが「20人」とあるが、右岸地域と左岸地域を合わせた委員数が「20人」ということか。

(地域内分権推進担当係長)そのとおり。

(委員)6地域で「24人以下」というのは、現在の右岸地域協議会と左岸地域協議会の委員数の半数程度になると捉えてよいのか。

(地域内分権推進担当係長)そのとおり。

(委員)丸子・真田・武石地域協議会と扱いは異なるということか。

(地域内分権推進担当係長)そのとおり。

(委員)6地域とはどのような単位を指すのか。

(地域内分権推進担当係長)旧上田地域協議会の設置単位であり、今後は6地域から4人ずつ上田地域協議会の委員として選出するもの。

(委員)現在、左岸地域協議会の委員は20人いるが、今後は4人になるということか。

(地域内分権推進担当係長)それぞれの地域で4人ずつ選出いただく。左岸地域内は3地域あるため最大12人となる。

(委員)最大24人というのは上田地域協議会の最大人数ということか。

(地域内分権推進担当係長)そのとおり。

(委員)①について、前回アンケート結果を報告していただいた際は、賛否が拮抗しているのではいるのではないか、という意見があった。反対の意見を確認すると、確かに「賛成」「どちらかといえば賛成」と「反対」「どちらかといえば反対」は拮抗している。文章の中で、「「賛成」「どちらかといえば賛成」が「反対」・「どちらかといえば反対」を上回っており」を「やや上回っている」や「若干上回っている」と表現いただきたい。

(地域内分権推進担当係長)ご意見を踏まえて集計すると、「賛成」「どちらかといえば賛成」が17、「どちら

かといえば反対」「反対」が13となった。ご意見のとおり「若干」と追記してよいか。

(会長)数字の上では拮抗しているが、意見内容を加味すると差が生じる。いずれにしても拮抗しているということ。単に「上回っている」だけでなく、「やや」や「若干」という言葉を入れて、拮抗しているということの含みを持たせてはどうか、という意見だがどうか。

(委員)アンケート結果を基にしているので、表現を追加しても良いと考える。

(委員)これは投票でなくアンケートなので、単なる数字として捉えるのではなく、皆で意見を出し合った方が良いのではないか。

(会長)アンケート結果を踏まえて意見を出し合った方が良い、という意見があった。その他の意見はどうか。

(委員)本日の協議会で左岸地域協議会としての意思を決定し、意見書を作成するところまで進めるということか。

(地域内分権推進担当係長)決定いただけるとありがたい。

(委員)最終的な結論として、上田地域が一つで協議を進めて行くことが適当と考える、ということなら表現についてはどちらでも良いと考える。

(会長)結論に関して意見を出し合った方が良い、というご意見もあったが、これまでも意見は出し合っている。その他の意見もないようなので、①に関して表現に「やや」や「若干」などの文言を使用することで結論としたい。

(3) その他

4 事務連絡

次回 令和7年度 第1回

日時 令和7年4月17日(木) 午後1時30分から

場所 川西公民館 大ホール

5 閉会